



大江眼科が行うICL手術の特徴

●年間350件以上、幅広い疾患の手術を行う医師が担当

院長は白内障や緑内障をはじめ、高度な技術を要する網膜硝子体手術など、過去7年で3500件以上の手術に携わっています

●見え方の質を高める設備と痛みに配慮した日帰り手術

目の形状や乱視の軸を正確に把握し、最適な位置にレンズを固定するためのガイドシステム等完備。手術への恐怖心や緊張が強い場合は、「笑気ガス麻酔」も対応可能です





迷っている人はまず相談から
【ICL専用 LINE相談受付中】

術後の注意点など、ICL手術に関する疑問を気軽に質問できます。※現在レンズをオーダーしてから届くまで1カ月ほどかかります。早めに相談を

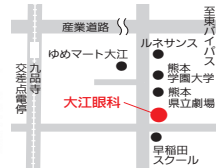


大江眼科

【問合せ】
096-285-8715

住所／中央区新大江1-2-10（県立劇場そば） 【HP】

【診療日】月～金 9:00～11:30、月・金 14:00～16:30
第2土曜のみ9:00～11:00 ※火・水・木の午後は手術
※休診は第1・3～5土曜、日祝 ※8月8日～16日は夏季休業にて休診



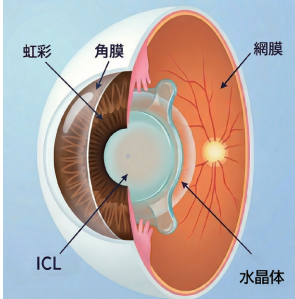
産業道路
ゆめマート大江
大江眼科
ルネサンス
熊本大学
熊本県立劇場
早稲田
スクール

「ただ視力を上げる」だけじゃない。 将来の目の健康を見据え、総合力で支える「ICL手術」

大江眼科

大江眼科
芳賀 彰(はが あきら) 院長

2008年、熊本大学医学部卒業。2017年医学博士取得、熊本大学病院眼科で助教や病棟医長を歴任し、「網膜専門外来チーム」として難治性網膜疾患や高度な白内障・緑内障手術などに携わる。高難度眼科手術の「日帰り化」を目指して2024年に「大江眼科」開院。日本眼科学会認定眼科専門医、ICL認定医



ICL手術とは？
適応年齢：21歳～45歳

眼に3mmの小さな傷を作り、専用の器具を用いて折りたたんだ状態のレンズを眼内に挿入。挿入したレンズを眼内で広げ、虹彩と水晶体の間に埋め込んで固定。手術は点眼麻酔で行い、両眼で20～30分程度で終了

ICL手術の費用(自由診療) ※10月31日までの場合

乱視なし／両眼 50万円 乱視あり／両眼 60万円

※片眼の場合 乱視なし／25万円 乱視あり／30万円 ※すべて税込

- 【費用に含まれているもの】
- 術前・術後の検査および診察費用
 - 術前後に必要な点眼薬・内服薬の費用
 - 手術・麻酔費用(低濃度笑気ガス麻酔含む)
 - 術後に使用する保護メガネ
 - 術後3年までの検診費用
- 術後3年までの長期保証
- ・レンズのサイズや度数が合わなかった場合のレンズ入れ替え手術(片眼につき1回まで無料)
 - ・レンズの位置修正などの追加手術(3年間無料)
 - ・レンズを取り出す手術(3年間無料)

眼内手術だからこそ問われる
執刀医の技術と経験

裸眼で快適に過ごせる視力矯正として注目の「ICL」(有水晶体眼内レンズ)。

目の中に小さな専用レンズを挿入する治療法で、角膜を削らないためドライアイになりにくく、いざという時はレンズを取り出して元の状態に戻せるというメリットから、熊本でも近年注目を集めています。

しかし、目の内部を扱う繊細な手術でもあります。「ICLは素晴らしい治療ですが目の内部にレンズを固定する『内眼手術』です。だからこそ、眼球全体の構造を深く理解し、日常的に眼内手術に習熟していることが、安全を確保する上で重要なことだと考えています」と芳賀院長は語ります。

なお、ICLの認定医資格をもつ医師は、現在熊本県内で4人のみ

このこと。

ICL手術は全ての人が受けられるわけではありません。目の形状や年齢、さらに病気が見つかればその治療が優先されます。

手術ができない場合も対応できる総合力

「大切なのはただ視力を上げるのではなく、『将来にわたって目の健康を守る』ことです。ICLに適応するかを調べる検査で、ま

れに本人が自覚していなかった病気が見つかるケースもあります。当院では目の状態を総合的に診断し、その方に本当に必要な医療を提供しています。

ICL手術後も、年齢とともに訪れる白内障などのトラブルに対し、生涯にわたる「目のかかりつけ医」としてトータルサポートが続き、適応検査は無料です。まずは気軽に「ご相談ください」。